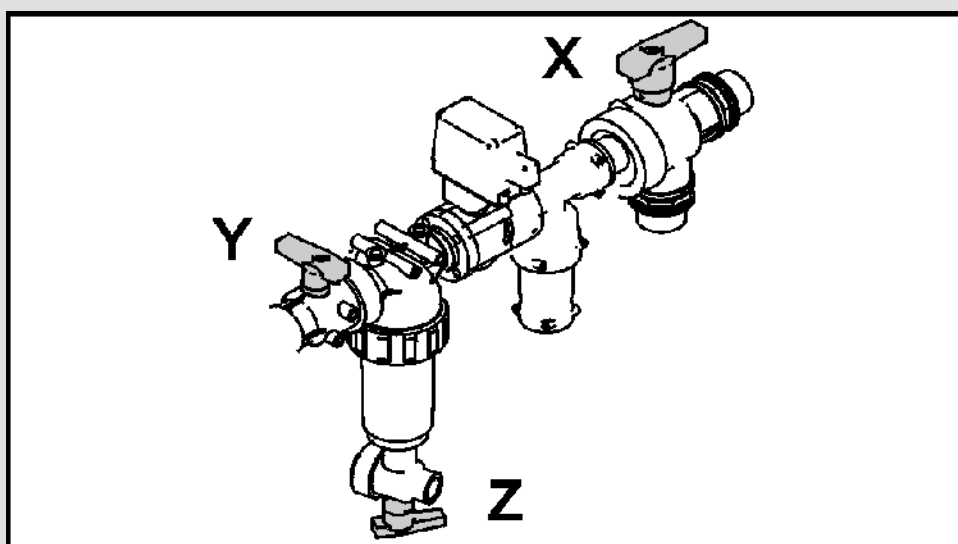


取扱説明書

AMAZONE

高性能液体肥料散布システム HighFlow



MG6733
BAG0115.0 08.12
Printed in Germany

初期設定を行う前に、
本取扱説明書をよくお読みください。
今後必要になる場合に備え、大切に保管
してください！

ja



本書をよくお読みください

取扱説明書を読み、その内容を遵守することは面倒で余計なことだと思われるかもしれませんが。しかし、この機械が優良であると人から見聞きし、機械を購入し、後はすべて独りでにうまくいくと信じるだけでは不十分です。それでは自分自身に損害を与えるだけでなく、意に反した作動が起きた場合の原因を自分ではなく機械のせいにもしかねません。良い成果を得るには、使い方を良く理解し、機械の各設備が持つ使用目的について知り、操作方法に精通する必要があります。そうすることで初めて、機械にも自分自身にも満足できるのです。それを果たすことが、本取扱説明書の目的です。

ライブツイヒ

プラークヴィッツ、1872年



識別データ

機械の識別データをここに記入してください。識別データは銘板に記載されています。

機械の識別番号：

(10桁)

タイプ：

ハイフロー

製造年：

基本重量 (kg)：

許容総重量 (kg)：

最大荷重 (kg)：

メーカーの所在地

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Postfach 51

D-49202 Hasbergen / Germany

電話： + 49 (0) 5405 50 1-0

Fax： + 49 (0) 5405 501-234

E-mail: amazone@amazone.de

交換部品の注文

交換部品のリストは、www.amazone.deの交換部品ポータルで自由に閲覧可能です。

担当の AMAZONE 代理店にご注文ください。

本取扱説明書についてのデータ

文書番号：

MG6733

編集日：

08.12

© Copyright AMAZONEN-WERKE H. DREYER GmbH & Co. KG, 2012 .

All rights reserved.

AMAZONEN-WERKE H. DREYER GmbH & Co.

KGの許可なく本書の一部または全部を複製することを禁じます。

はじめに

顧客の皆様

このたびは、弊社 AMAZONEN-WERKE, H. DREYER GmbH & Co. KGの高品質で豊富な製品の中から当機をお選びいただき、ありがとうございます。そのご信頼に対し深く御礼申し上げます。

機械を受け取ったら、輸送中に損傷を受けていないか、また部品がすべて揃っているか確認してください。納品書と照らし合わせ、注文した特殊装備も含め、すべてが機械に備わっていることを確認してください。ただちに問題を指摘していただかないと、不具合を修正することができません。

初期設定を行う前に、本取扱説明書（特に安全に関する注意事項）をよく読み、十分に理解してください。注意深くお読みいただいて初めて、ご購入いただいた機械のすべての長所が活用可能になります。

初期設定を行う前に、機械を操作する人が全員、本取扱説明書を読んだことを確認してください。

不明点や疑問点がある場合は、本取扱説明書を参照するか、または弊社までお問い合わせください。

定期的にメンテナンスを実施し、磨耗部品や損傷部品を適宜交換することで、機械の寿命を伸ばすことができます。

ユーザーからの評価

読者の皆様

弊社では定期的に取り扱説明書をアップデートしております。よりユーザー本位の取扱説明書に改良していくため、皆様からのご意見は大変参考になります。皆様のご意見をどうぞFaxでお寄せください。

AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Postfach 51

D-49202 Hasbergen / Germany

電話： + 49 (0) 5405 50 1-0

Fax： + 49 (0) 5405 501-234

E-mail: amazone@amazone.de

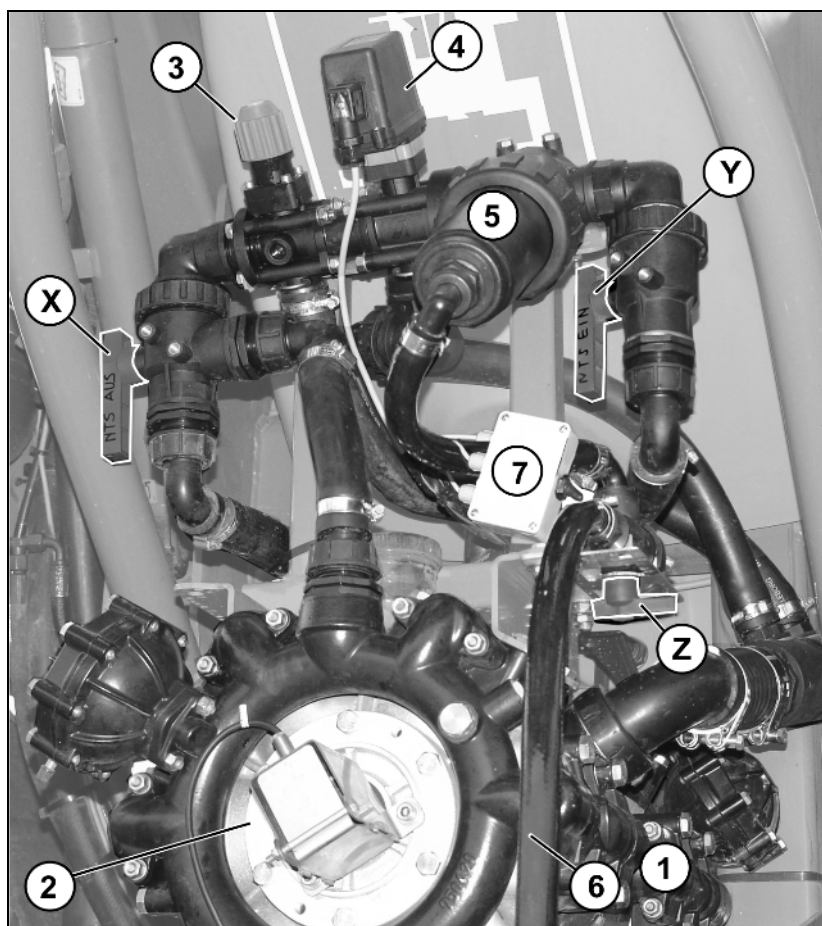
1	構造と機能	7
1.1	機能	7
1.2	Pantera の HighFlow の構造	8
1.3	UX の HighFlow の構造	9
1.4	HighFlow 切り替え栓	10
1.5	スイッチ付き制御ボックス	10
1.6	液体回路	11
2	HighFlow の使用.....	14
3	スプレーヤーの清掃	16
3.1	UX の清掃	17
3.1.1	タンクが空の状態ですプレーヤーを清掃する	17
3.1.2	タンクが充填された状態ですプレーヤーを清掃する（作業の中断）	20
3.1.3	タンクが充填された状態で吸引フィルターを清掃する	21
3.1.4	タンクが充填された状態で圧力フィルターを清掃する	22
3.2	コンフォート仕様の UX / Pantera を清掃する（AMATRON）	23
3.2.1	洗浄水による散布液の希釈	24
3.2.2	タンクが空の状態ですプレーヤーを清掃する	24
3.2.3	タンクが充填された状態ですプレーヤーを清掃（作業の中断）	27
3.2.4	タンクが充填された状態で吸引フィルターを清掃	29
3.3	コンフォート仕様の UX / Pantera を清掃する（ISOBUS）	30
3.3.1	洗浄水による散布液の希釈	31
3.3.2	タンクが空の状態ですプレーヤーを清掃する	32
3.3.3	タンクが充填された状態ですプレーヤーを清掃（作業の中断）	34
3.3.4	タンクが充填された状態で吸引フィルターを清掃	36
3.4	最終残留物の排出.....	37
3.5	タンクが空の状態で吸引フィルター を清掃する	38
3.6	タンクが空の状態で圧力フィルター を清掃する	38
3.7	混ぜられない薬剤を交換する際のスプレーヤー清掃	39

1 構造と機能

1.1 機能

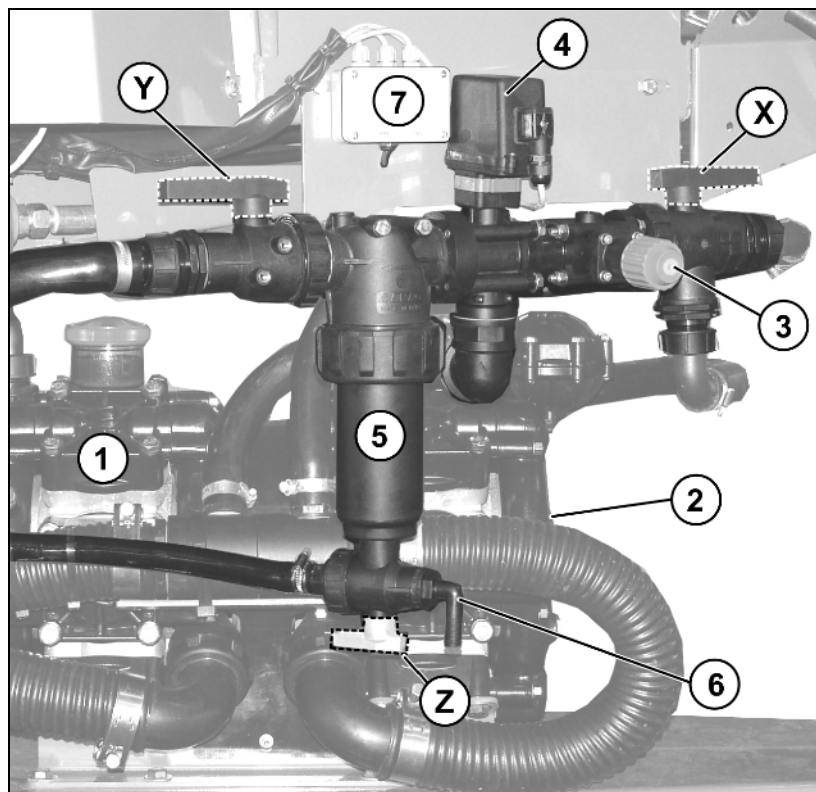
- 液体肥料の散布量を増やすことも可能です（オプション）。
最大散布量は 400 L/min まで
増加できます。
- この場合、アジテーターポンプは散布量を増やすために使われます。そして、攪拌駆動には全く使われないか、使われても部分的なものになります。
- この高性能液体肥料散布システムは、操作端末および HighFlow 切り替え栓で ON/OFF します。

1.2 Pantera の HighFlow の構造



- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| X HighFlow 切り替え栓 | 1. 散布ポンプ |
| Y 逆止ロック切り替え栓 | 2. アジテーターポンプ |
| Z アジテーター切り替え栓
/ 残留物排出 | 3. 圧力解放バルブ |
| | 4. アジテーターポンプ散布量制御
バルブ |
| | 5. 補助圧力フィルター |
| | 6. 排出ホース |
| | 7. スイッチボックス |

1.3 UX の HighFlow の構造

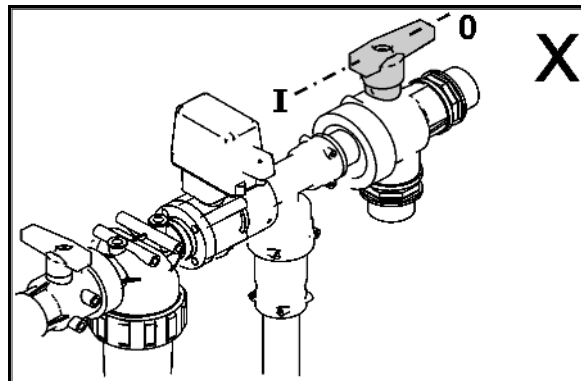


- X. HighFlow 切り替え栓
- Y. 逆止ロック切り替え栓
- Z. アジテーター切り替え栓 / 残留物排出
- 1. 散布ポンプ
- 2. アジテーターポンプ
- 3. 圧力解放バルブ
- 4. アジテーターポンプ散布量制御バルブ
- 5. 補助圧力フィルター
- 6. 排出ホース
- 7. スイッチボックス

1.4 HighFlow 切り替え栓

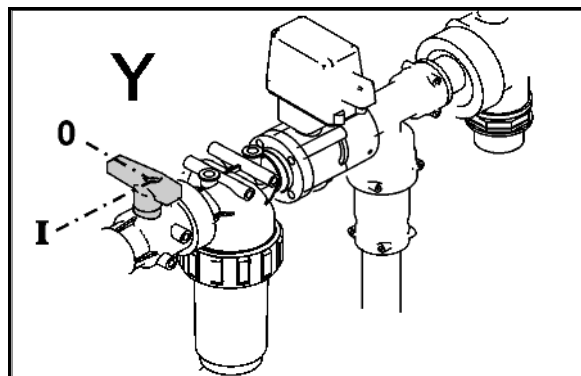
HighFlow 切り替え栓 X

- I 位置 : HighFlow 散布ライン ON
- 0 位置 : HighFlow 散布ライン OFF
(メインアジテーター ON)



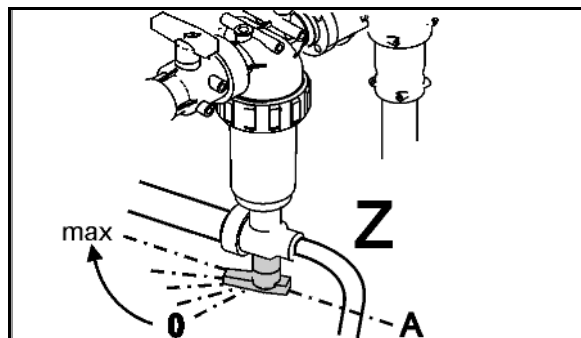
逆止ロック切り替え栓 Y

- I 位置 : HighFlow 散布ライン 開
(HighFlow 運転のため)
- 0 位置 : HighFlow 散布ライン 閉



アジテーター切り替え栓 Z

- max : 補助アジテーター最大 ON。
- 0 : 補助アジテーター完全 OFF、
最大散布量。

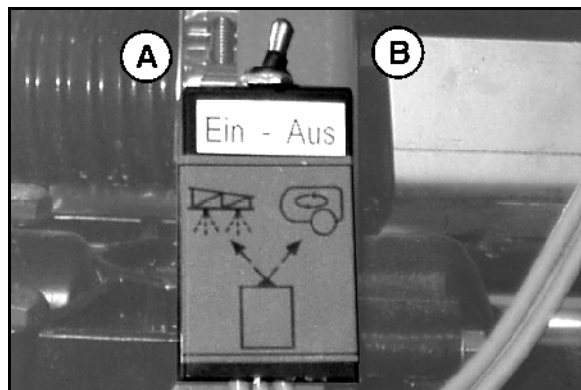


切り替え栓は、流量をアジテーターと HighFlow に分配します。AとBの間の任意の位置に設定可能です。

- A 位置 : HighFlow 装置の液体排出。

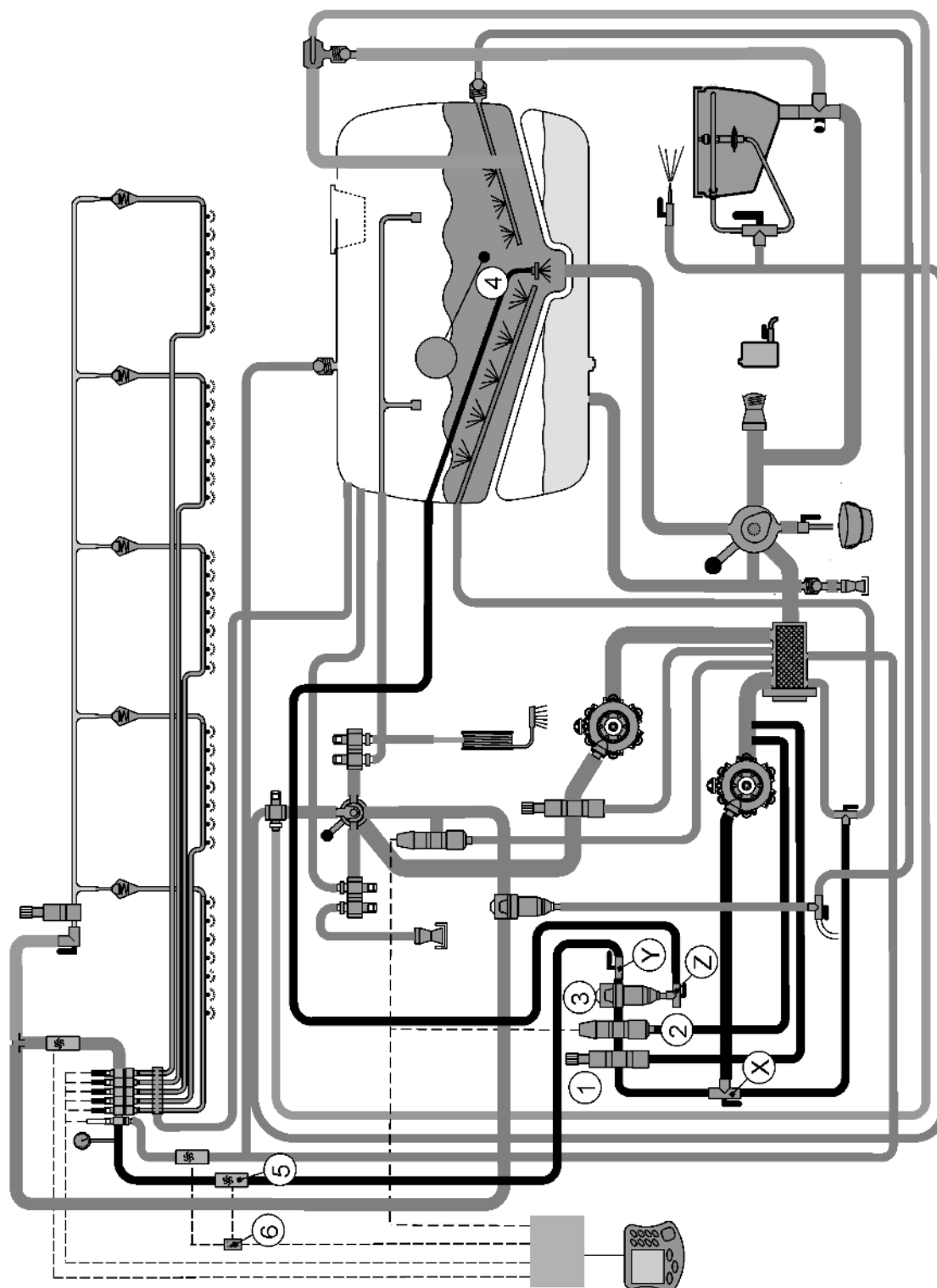
1.5 スイッチ付き制御ボックス

- A 位置 : HighFlow が ON
- B 位置 : HighFlow が OFF

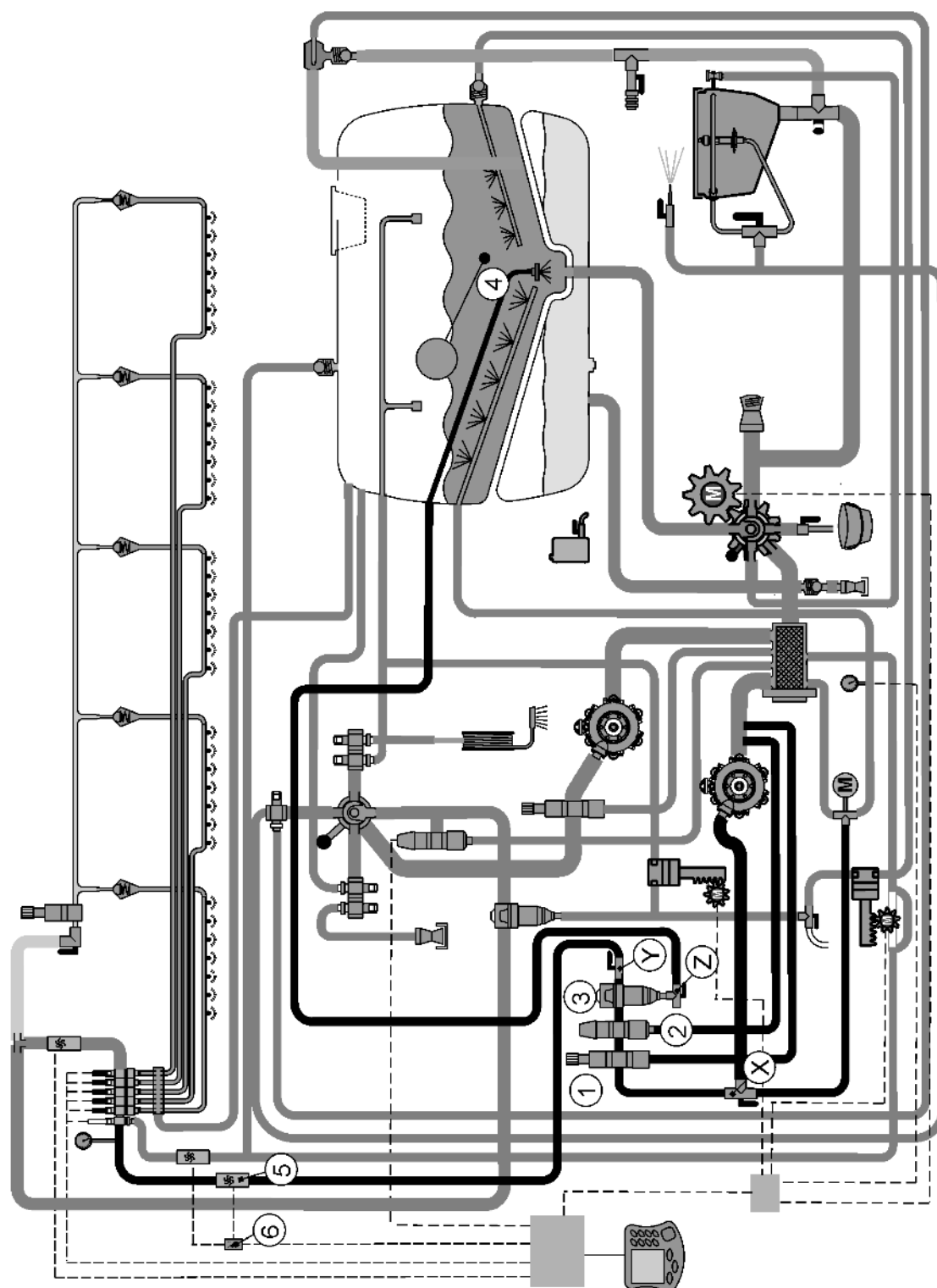


1.6 液体回路

HighFlow :



コンフォート仕様の HighFlow :

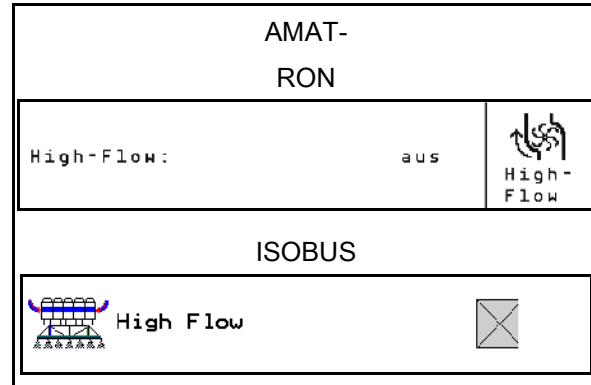


- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| (X) HighFlow 切り替え栓 | (1) 圧力解放バルブ |
| (Y) 逆止ロック切り替え栓 | (2) アジテーターポンプ散布量制御バルブ |
| (Z) アジテーター切り替え栓 / 残留物排出 | (3) HighFlow 圧カフィルター |
| | (4) HighFlow 補助アジテーター |
| | (5) 流量計 3 |
| | (6) 制御ボックス |

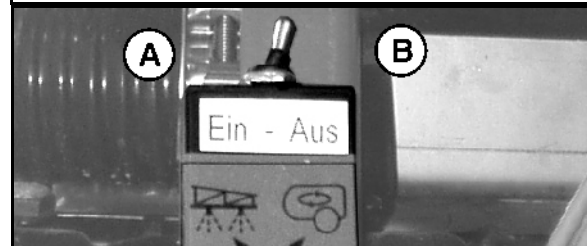
2 HighFlow の使用

HighFlow 散布ラインを ON にして最大散布量を増やすには、以下のようになります：

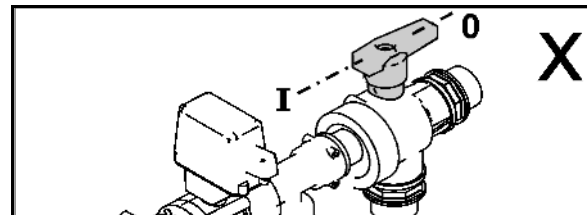
1. 操作端末：機械データメニュー：
 - o HighFlow : ON / ☒.



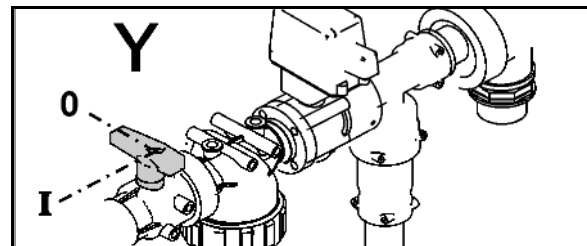
2. スイッチボックスのスイッチを A 位置にします。



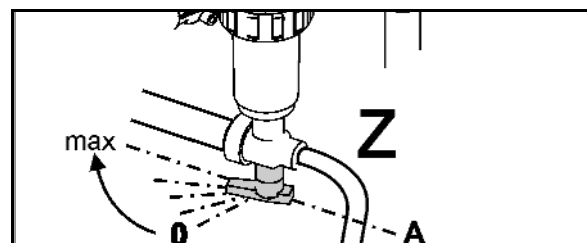
3. HighFlow 切り替え栓 X を I 位置にします。



4. 逆止ロック切り替え栓 Y を I 位置にして開きます。



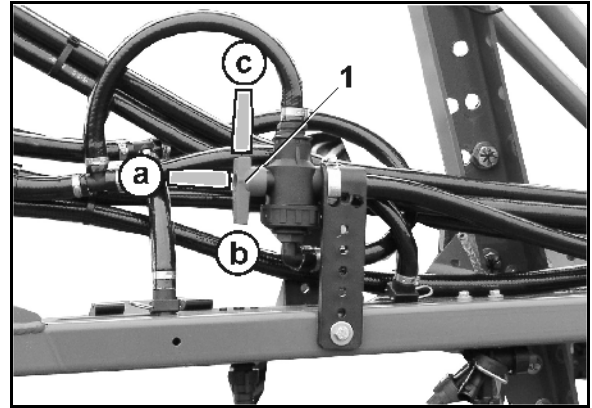
5. アジテーター切り替え栓 Z を 0 と最大の間に設定します。



6. 必要に応じて、散布ライン切り替え栓で、両方の散布ラインを選択します。

(1) 各ブームセクションにひとつの設定栓があります：

- a ドラッグホースを使って両方の散布ラインを通じて散布
- b 標準散布ラインを通じて散布
- c 第2散布ラインのみを通じて散布



コンフォート仕様：HighFlow
運転では、自動アジテーター制御はできません。

標準的な散布作業の場合：

1. 操作端末：HighFlow OFF。
2. スイッチボックスのスイッチを B 位置にします。
3. 逆止ロック切り替え栓 Y を B 位置にして閉じます。
4. HighFlow 切り替え栓 X を B 位置にします。



以下の場合に誤りがあると、制御端末が High-Flow で誤った散布量を表示します。

- 操作端末で HighFlow を ON/OFF にした場合。
- 制御ボックスのスイッチを A/B 位置に設定した場合。

3 スプレーヤーの清掃

**警告**

ライン内に残留した散布物による、薬剤変更後の植物の損傷。

HighFlow の使用・不使用にかかわらず、機械を使用した後には HighFlow の液路とメインアジテーターの液路の両方を清掃する必要があります。



- 散布液タンクは毎日清掃してください。
- 洗浄水タンクは満タンでなければなりません。
- 清掃を行うには、洗浄と散布を 3 度繰り返してください。

3.1 UX の清掃

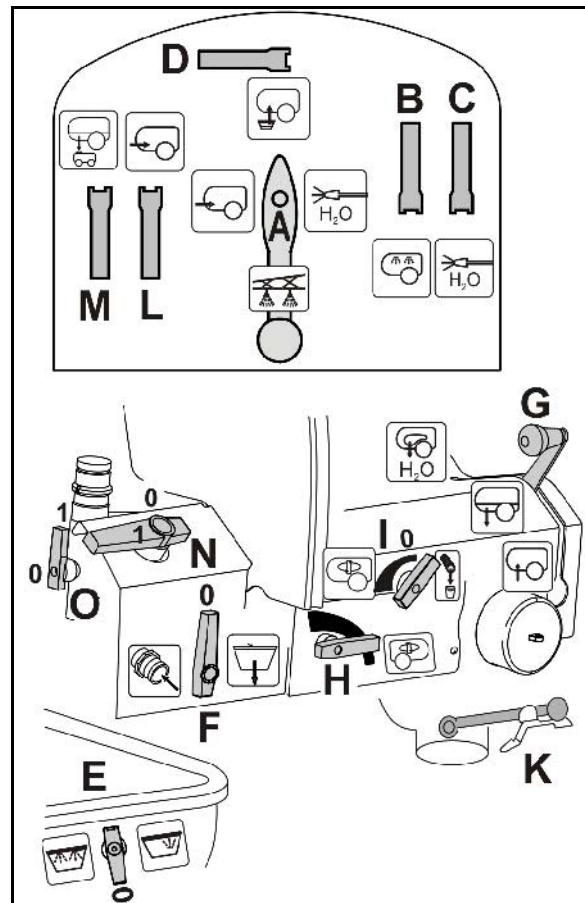
3.1.1 タンクが空の状態ですプレーヤーを清掃する

清掃プロセス A

1. ポンプ回転数は
450 rpm に設定してください。
2. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。
3. 圧力装置の切り替え栓 A を  位置にします。
4. 切り替え栓 X を 0 位置にします。
5. アジテーター I を全開にします。
→ 洗淨水の 10 % を用いてアジテーターを洗淨します。
6. アジテーター I を OFF にします。

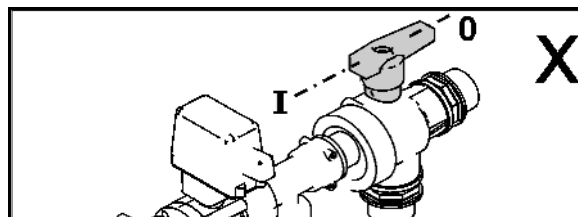


DUS: 散布ラインは自動洗淨されます。ここでは 10 % の量の洗淨水を使用します。



スプレーヤーの清掃

7. 圧力装置の切り替え栓 A を  位置にします。
 8. 切り替え栓 B を開きます。
- 内部洗浄を 10% の量の洗浄水で実行します。
9. 切り替え栓 B を閉じます。



10. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。

11. 圧力装置の切り替え栓 A を  位置にします。
12. 作業済みの圃場を走行しながら、希釈した残留物を散布します。
13. ボードコンピュータで、散布 ON/OFF を数秒間隔で何度か切り替えます。



ON/OFF の切り替えにより、バルブとリターンパイプが洗浄されます。

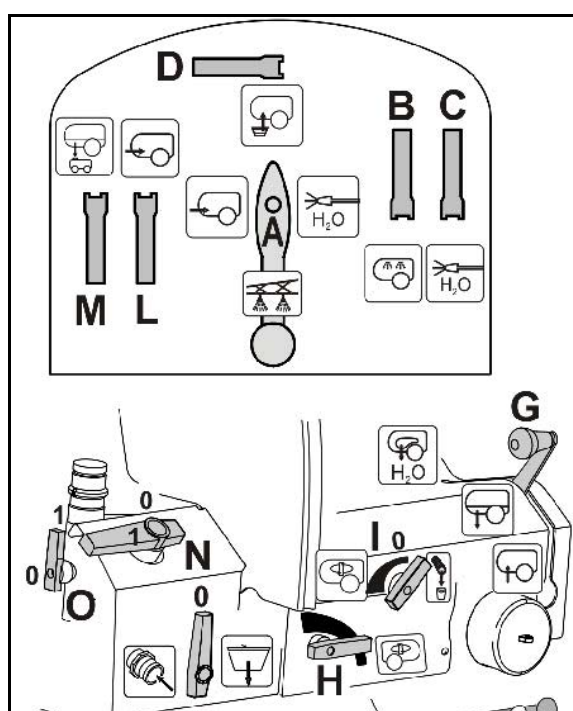
- 希釈した残留物をノズルから空気が漏れるまで散布します。

清掃プロセス B

14. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。
 15. 切り替え栓 X を I 位置にします。
 16. アジテーター I および Z を全開にします。
- 洗浄水の 10 % を用いてアジテーターを洗浄します。
17. アジテーター I および Z を OFF にします。



DUS: 散布ラインは自動洗浄されます。ここでは 10 % の量の洗浄水を使用します。



18. 圧力装置の切り替え栓 A を  位置にします。

19. 切り替え栓 B を開きます。

→ 内部洗浄を 10% の量の洗浄水で実行します。

20. 切り替え栓 B を閉じます。

21. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。

22. 圧力装置の切り替え栓 A を  位置にします。

23. 作業済みの圃場を走行しながら、希釈した残留物を散布します。

24. ボードコンピュータで、散布 ON/OFF を数秒間隔で何度か切り替えます、



ON/OFF の切り替えにより、バルブとリターンパイプが洗浄されます。

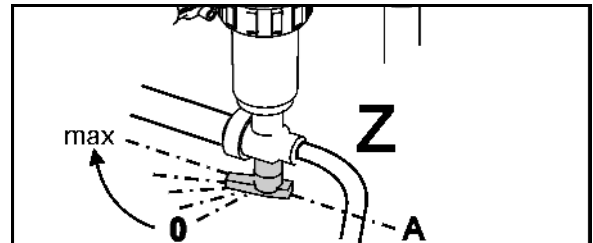
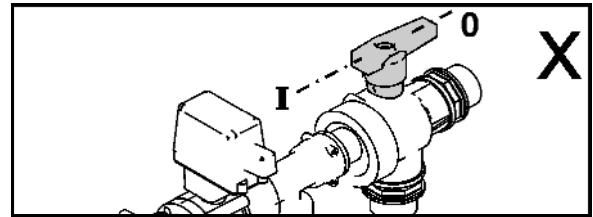
→ 希釈した残留物をノズルから空気が漏れるまで散布します。

清掃プロセス B を繰り返します。

洗浄水の残りは内部洗浄に使用して、最終残留物まで散布します。

25. 最終残留物を排出します (37 ページを参照) 。

26. 吸引フィルターと圧力フィルターを清掃します (38 ページ、38 を参照) 。



3.1.2 タンクが充填された状態でスプレーヤーを清掃する（作業の中断）



悪天候により散布作業を中断する場合は、吸引室（吸引フィルター、ポンプ、圧力コントローラー）および散布ラインを必ず清掃してください。

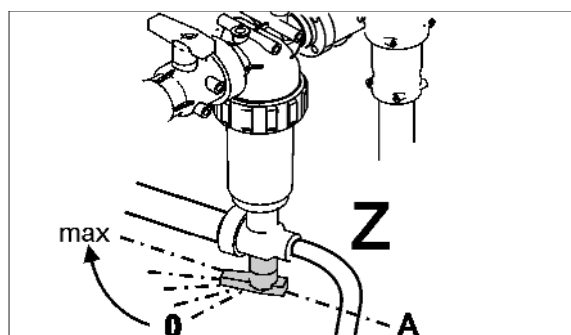
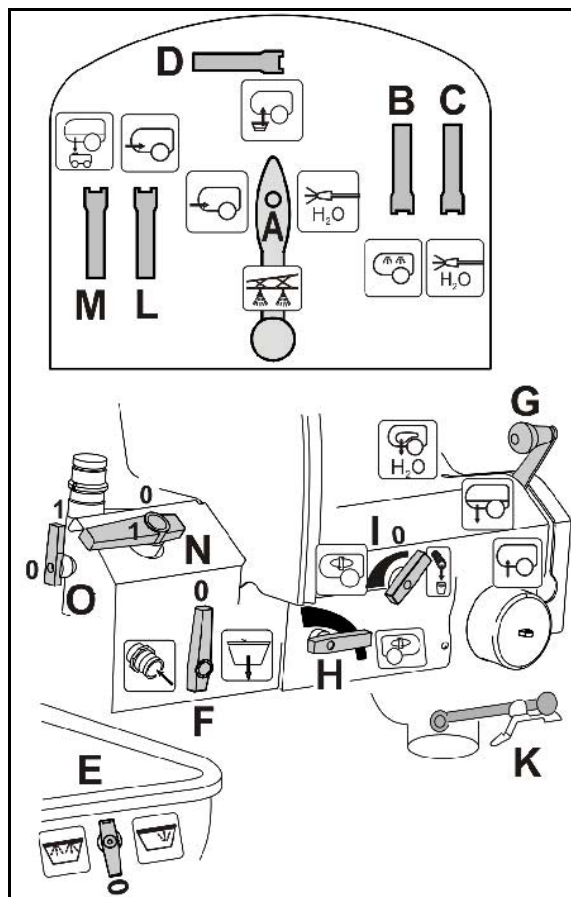
1. ポンプ駆動を中断します。
2. アジテーター Z、I を OFF にします。
3. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。
4. ポンプ回転数は 450 rpm に設定してください。

DUS が搭載されていない場合

5. 未作業の圃場を走行しながら、少なくとも 50 リットルの洗浄水を散布します。
- スプレーヤーが洗浄水で清掃されます。
- タンクとアジテーターはまだ清掃されていません。
 - タンク内の散布液濃度は変化していません。

DUS が搭載されている場合

- スプレーヤーが洗浄水で清掃されます。
これには作業幅 1m ごとに 2L の洗浄水が使用されます（充填レベルに注意してください）。
6. 散布を短時間 ON にします。
- ノズルが洗浄されます。
7. 薬剤の濃度が下がってしまうので、すぐにポンプを OFF にします。
- タンクとアジテーターはまだ清掃されていません。
 - タンク内の散布液濃度は変化しています。



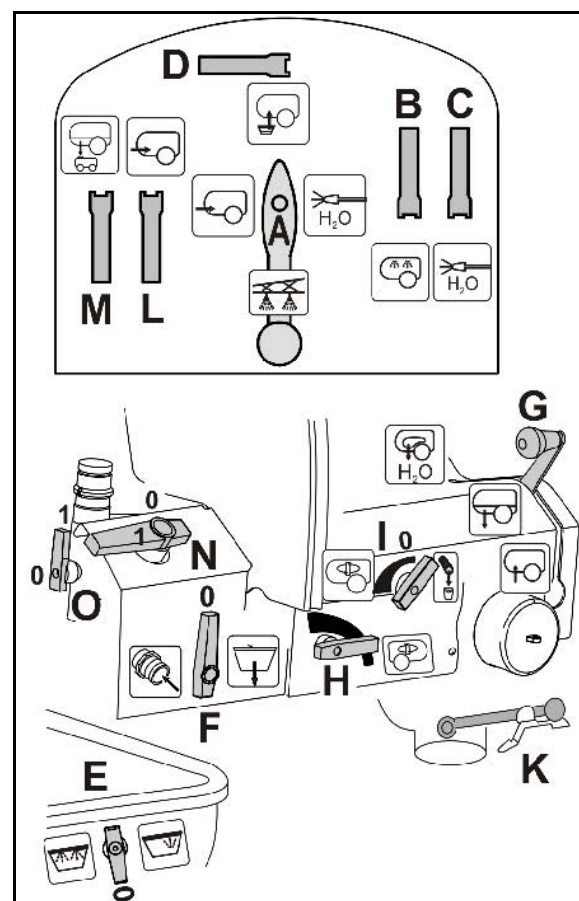
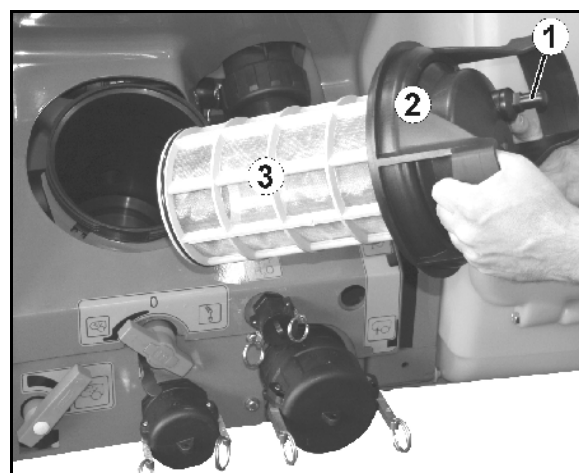
散布作業を続行する



散布作業を続行する前に、ポンプを 5 分間 540 rpm で駆動させ、アジテーターを完全に ON にします。

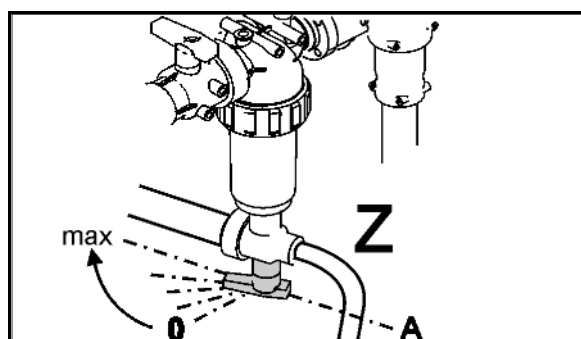
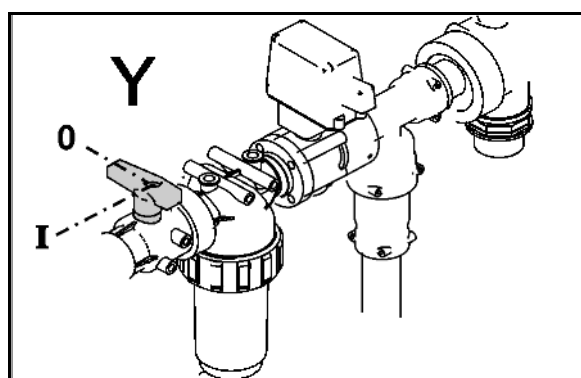
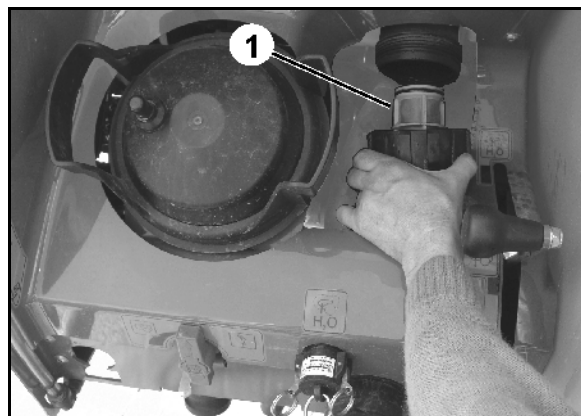
3.1.3 タンクが充填された状態で吸引フィルターを清掃する

1. ポンプ回転数は 300 rpm に設定してください。
2. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。注意：カムロックカップリングを吸引接続部に取り付ける必要があります。
3. 圧力装置の切り替え栓 A を  位置にします。
4. 切り替え L を開きます。
5. アジテーター H を全開にします。
6. 吸引フィルターのカバーを外します (2)。
7. 吸引フィルターの解放バルブを操作します (1)。
8. 吸引フィルター (3) 付きのカバーを取り外して、水で清掃します。
9. 逆の手順で吸引フィルターを再び組み立てます。
10. フィルターのカバーの気密性が保たれているか確認します。

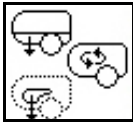
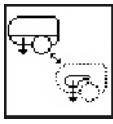
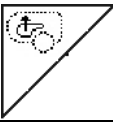
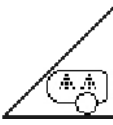
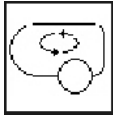
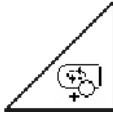
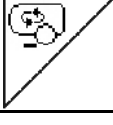


3.1.4 タンクが充填された状態で圧力フィルターを清掃する

1. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。
 2. 切り替え栓 Y を閉じます。
 3. 切り替え栓 I を  位置にします。
 4. 切り替え栓 Z を A 位置にします。
- 圧力フィルター内の残留量が排出されます。
5. ユニオンナットを緩めます。
 6. 圧力フィルターを取り外して、水で洗います。
 7. 圧力フィルターを再び取り付けます。
 8. ねじがしっかりしまっているか点検します。
 9. 切り替え栓 I を位置 0 にします。
 10. 切り替え栓 Z を 0 と最大の間にします。
 11. 切り替え栓 Y を再び開きます。



3.2 コンフォート仕様の UX / Pantera を清掃する (AMATRON)

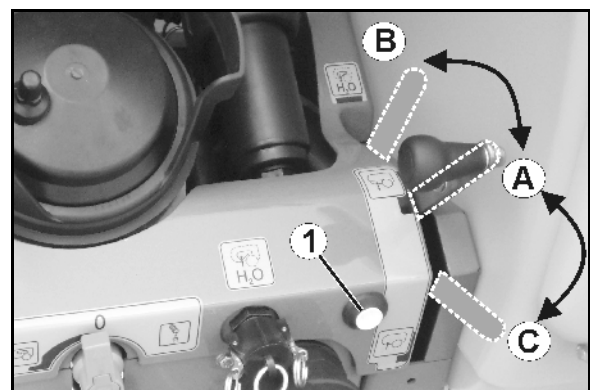
	コンフォートパッケージメニューを呼び出します。
	散布/洗浄の切り替え
	散布液の希釈
	清掃のON/OFF
	アジテーター 自動/手動
	攪拌強度を増加
	攪拌強度を減少

コンフォートパッケージにより、以下のものを使った吸入側の切り替えが可能になります。

- **AMATRON⁺**、
- 制御装置のボタン (1)。

リモート操作可能な設定:

- 散布 (位置 A)
- 洗浄 / 希釈 (位置 B)
- 吸引カップリング経由での充填 (位置 C、充填メニューでのみ)



スプレーヤーの清掃

3.2.1 洗浄水による散布液の希釈

1.  希釈を開始します。
- 補助アジテーターを介してタンクに洗浄水が注がれます。
2. タンクの充填レベルを監視します。
3.  希釈を終了します。

 DUS搭載機では散布ラインが洗浄されます。改めて散布を開始する際は、濃縮された農薬を散布できるまで2～5分の時間がかかります。

Zustand:	spülen	
Füllstand:	2300 Liter	
verdünnen:	aus	
Behälterinnen-	aus	
reinigung:		
Rührwerk:	automatisch	
Rührdruck:	3.5 bar	

3.2.2 タンクが空の状態ですプレーヤーを清掃する

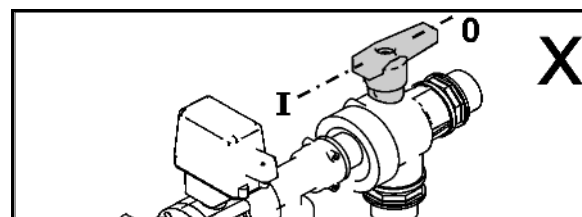
清掃プロセス A

清掃

タンク充填レベルが

1%以下であることが前提条件です（できるだけ空であること）。

1. 切り替え栓 X を 0 位置にします。
2. ポンプを 450 min⁻¹ で駆動します。
3.  清掃を開始します。
- メインアジテーターと補助アジテーターが洗浄され、タンク内部の清掃がONになります。
- タンク充填レベルが 4 %になると、清掃は自動的に終了します。



Zustand:	spülen	
Füllstand:	2300 Liter	
verdünnen:	aus	
Behälterinnen-	aus	
reinigung:		
Rührwerk:	automatisch	
Rührdruck:	3.5 bar	

Zustand:	spülen	Shift 
Füllstand:	2300 Liter	

 DUS搭載機では、散布ラインも自動的に清掃されます。

タンクを空にする

4.  散布を ON にします。

作業済みの圃場を走行しながら、希釈した
残留物を散布します。

走行中に最低でも 10 回は散布の
ON/OFF を切り替えてください。

- 希釈した残留物をノズルから空気が漏れる
まで散布します。

5.  散布を OFF にします。

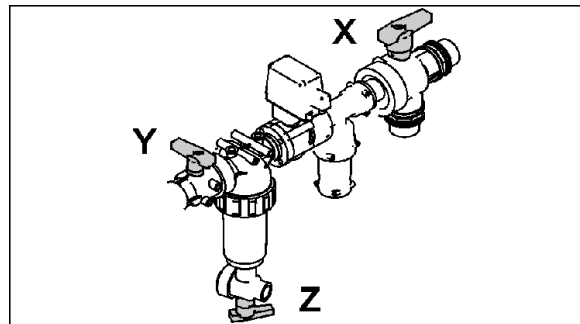
清掃プロセス B

清掃

1. 切り替え栓 X を I 位置にします。
2. アジテーター Z を全開にします。

3.  清掃を開始します。

- 両方の補助アジテーターが洗浄され、タンク内部の清掃が ON になります。
- タンク充填レベルが 4 % になると、清掃は自動的に終了します。
- 洗浄水の 10 % を用いてアジテーターを洗浄します。



タンクを空にする

4.  散布を ON にします。

作業済みの圃場を走行しながら、希釈した残留物を散布します。

走行中に最低でも 10 回は散布の ON/OFF を切り替えてください。

- 希釈した残留物をノズルから空気が漏れるまで散布します。

5.  散布を OFF にします。

清掃プロセス B を繰り返します。

洗浄水の残りは内部洗浄に使用して、最終残留物まで散布します。

6. 最終残留物を排出します (37 ページを参照) 。
7. 吸引フィルターと圧力フィルターを清掃します (38 ページ、38 を参照) 。

3.2.3 タンクが充填された状態でスプレーヤーを清掃（作業の中断）

1.  吸引側を洗浄に切り替えます。

→ 洗浄水が吸引され、アジテーターが閉じます。



散布と洗浄の切り替えは、制御装置のボタンで行うこともできます。

Zustand:		spülen	
Füllstand:	2300	Liter	
verdünnen:		aus	
Behälterinnen-		aus	
reinigung:			
Rührwerk:		automatisch	
Rührdruck:		3.5bar	

DUSが搭載されていない機械:

2.  散布を ON にします。
- 散布ラインとノズルを洗浄水で清掃します。
3.  散布を OFF にします。
4. ポンプ駆動を OFF にします。
5.  吸引側を再び散布に切り替えます。

- タンクとアジテーターはまだ清掃されていません。
- タンク内の散布液濃度は変化していません。

Zustand:		spülen	
Füllstand:	2300	Liter	
verdünnen:		aus	
Behälterinnen-		aus	
reinigung:			
Rührwerk:		automatisch	
Rührdruck:		3.5bar	

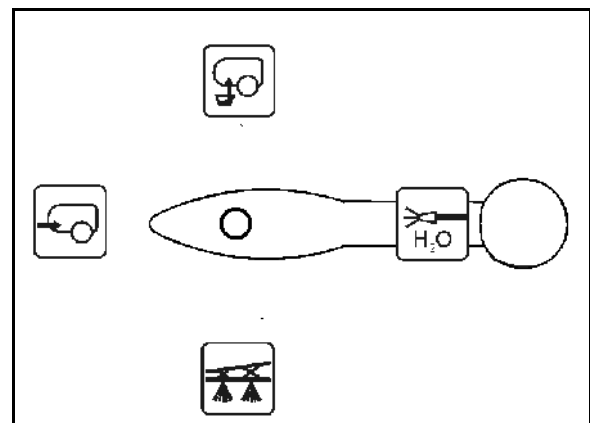
DUSを搭載した機械:

2. 作業幅 1 m ごとに 2 リットルの洗浄水がラインを洗浄するまで待ちます。
 3.  ノズルを清掃するため、散布を短時間 ON にします。
 4.  散布を OFF にします。
 5. ポンプ駆動を OFF にします。
 6.  吸引側を再び散布に切り替えます。
- タンクとアジテーターはまだ清掃されていません。
 - タンク内の散布液濃度は変化しています。

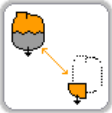
3.2.4 タンクが充填された状態で吸引フィルターを清掃

充填されたタンクで吸引フィルターを清掃する場合は、充填メニューを呼び出す必要があります。

1.  充填メニューを呼び出します。
 2. 吸引カップリングにストッパーキャップをかぶせます。
 3.  圧力装置の切り替え栓を位置にします。
 4. 制御装置のボタンで、吸引側を充填に切り替えます。
- フィルタカップが空になるまで吸引されます。
5. 吸引フィルターのカバーを外します。
 6. 吸引フィルターの解放バルブを操作します。
 7. 吸引フィルター付きカバーを取り外し、水で清掃します。
 8. 逆の手順で吸引フィルターを再び組み立てます。
 9. フィルターのカバーの気密性が保たれているか確認します。
 10. 制御装置のボタンで、吸引側を散布に切り替えます。
 11.  圧力装置の切り替え栓を位置にします。



3.3 コンフォート仕様の UX / Pantera を清掃する (ISOBUS)

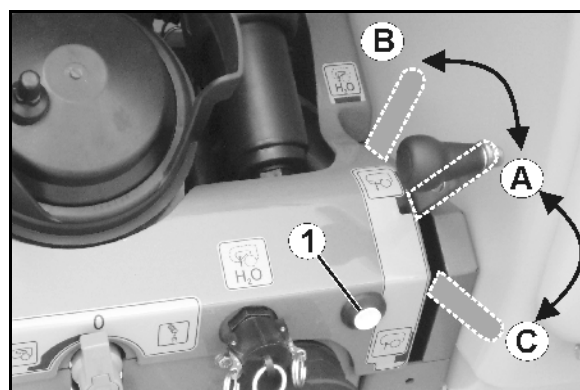
	コンフォートパッケージメニューを呼び出します。
	散布/洗浄の切り替え
	散布液の希釈
	清掃のON/OFF
	アジテーター 自動/手動
	攪拌強度を増加
	攪拌強度を減少

コンフォートパッケージにより、以下のものを使った吸入側の切り替えが可能になります。

- 操作端末
- 制御装置のボタン (1)

リモート操作可能な設定:

- 散布 (位置 A)
- 洗浄 / 希釈 (位置 B)
- 吸引カップリング経由での充填 (位置 C、充填メニューでのみ)



3.3.1 洗浄水による散布液の希釈

1.  希釈を開始します。

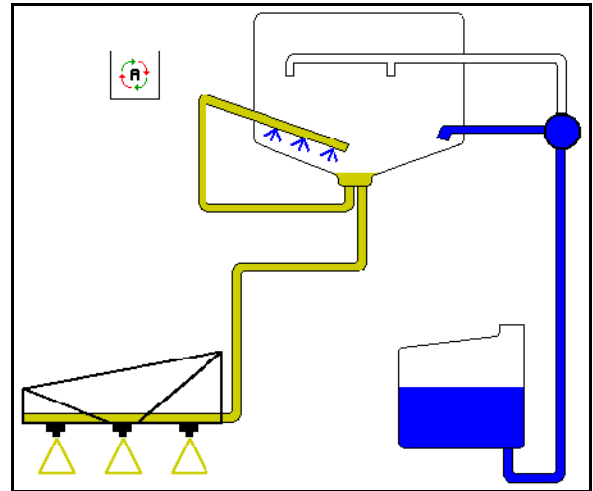
→ 補助アジテーターを介してタンクに洗浄水が注がれます。

2. タンクの充填レベルを監視します。

3.  希釈を終了します



DUS搭載機では散布ラインが洗浄されます。改めて散布を開始する際は、濃縮された農薬を散布できるまで2～5分の時間がかかります。



3.3.2 タンクが空の状態ですプレーヤーを清掃する

清掃プロセス A

清掃

タンク充填レベルが 1% 未満であることが前提条件です (できるだけ空であること)。

1. 切り替え栓 X を 0 位置にします。
2. ポンプを 450 min^{-1} で駆動します。



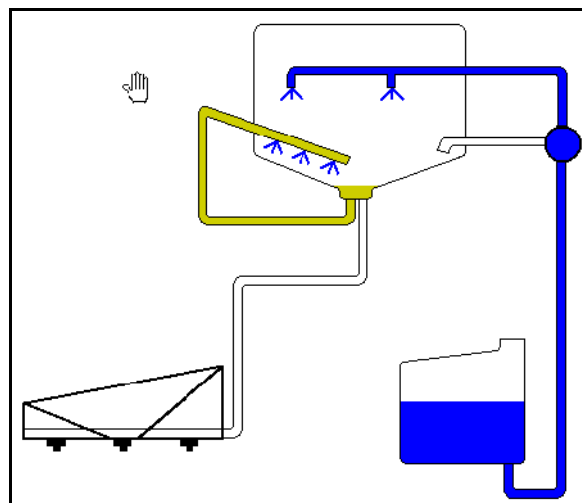
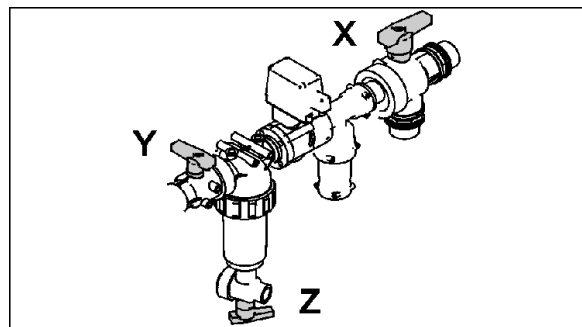
3. 清掃を開始します。

→ メインアジテーターと補助アジテーターが洗浄され、タンク内部の清掃が ON になります。

→ タンク充填レベルが 4 % になると、清掃は自動的に終了します。



DUS搭載機では、散布ラインも自動的に清掃されます。



タンクを空にする



4. 散布を ON にします。

作業済みの圃場を走行しながら、希釈した残留物を散布します。

散布は走行中に最低でも 10 回は ON / OFF に切り替えてください。

→ 希釈した残留物をノズルから空気が漏れるまで散布します。



5. 散布を OFF にします。

清掃プロセス B

清掃

1. 切り替え栓 X を I 位置にします。
2. アジテーター Z を全開にします。



3. 清掃を開始します。

- 両方の補助アジテーターが洗浄され、タンク内部の清掃が ON になります。
- タンク充填レベルが 4 % になると、清掃は自動的に終了します。
- 洗浄水の 10 % を用いてアジテーターを洗浄します。

タンクを空にする



4. 散布を ON にします。

作業済みの圃場を走行しながら、希釈した残留物を散布します。

散布は走行中に最低でも
10回はON / OFFに切り替えてください。

- 希釈した残留物をノズルから空気が漏れるまで散布します。

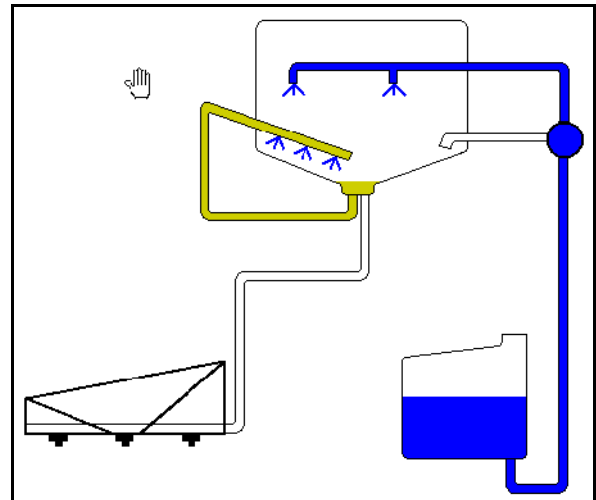
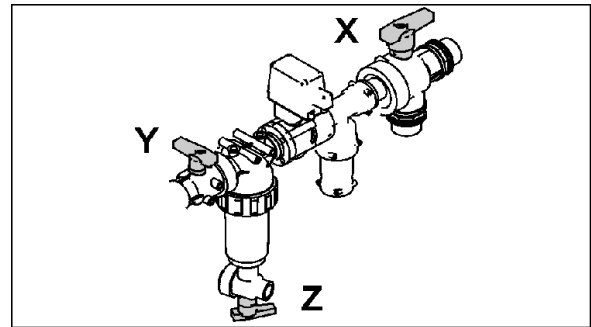


5. 散布を OFF にします。

清掃プロセス B を繰り返します。

洗浄水の残りは内部洗浄に使用して、最終残留物まで散布します。

6. 最終残留物を排出します
(37 ページを参照)。
7. 吸引フィルターと圧力フィルターを清掃します (38 ページ、38 を参照)。



3.3.3 タンクが充填された状態でスプレーヤーを清掃（作業の中断）

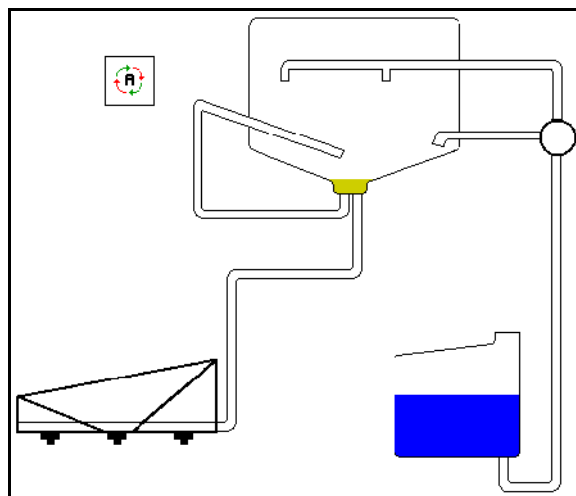


1. 吸引側を洗浄に切り替えます。

→ 洗浄水が吸引され、アジテーターが閉じます。



散布と洗浄の切り替えは、制御装置のボタンで行うこともできます。



DUSが搭載されていない機械:



2. 散布を ON にします。

→ 散布ラインとノズルを洗浄水で清掃します。



3. 散布を OFF にします。

4. ポンプ駆動を OFF にします。



5. 吸引側を再び散布に切り替えます。

- タンクとアジテーターはまだ清掃されていません。
- タンク内の散布液濃度は変化していません。

DUSを搭載した機械:

2. 作業幅 1 m ごとに 2
リットルの洗浄水ガラ
インを洗浄するまで待ちます。



3. ノズルを清掃するため、散布を短
時間 ON にします。



4. 散布を OFF にします。

5. ポンプ駆動を OFF にします。



6. 吸引側を再び散布に切り替えます。
- タンクとアジテーターはまだ清掃されてい
ません。
 - タンク内の散布液濃度は変化しています。

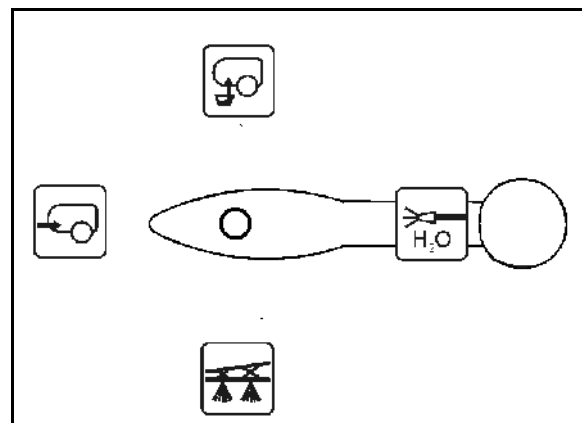
3.3.4 タンクが充填された状態で吸引フィルターを清掃

充填されたタンクで吸引フィルターを清掃する場合は、充填メニューを呼び出す必要があります。

1.  充填メニューを呼び出します。
2. 吸引カップリングにストッパーキャップをかぶせます。



3. 圧力装置の切り替え栓を  位置にします
 4. 制御装置のボタンで、吸引側を充填に切り替えます。
- フィルタカップが空になるまで吸引されます。



5. 吸引フィルターのカバーを外します。
6. 吸引フィルターの解放バルブを操作します。
7. 吸引フィルター付きカバーを取り外し、水で清掃します。
8. 逆の手順で吸引フィルターを再び組み立てます。
9. フィルターのカバーの気密性が保たれているか確認します。
10. 制御装置のボタンで、吸引側を散布に切り替えます。

11. 圧力装置の切り替え栓を  位置にします

3.4 最終残留物の排出



- 圃場で行う場合は、最終残留物を排出します。
- 農場の建物（または庭）で行う場合は、
 - 吸引装置の排出口下と、圧力フィルタ用排出ホースの下に適した受け容器を置き、最終残留物を回収します。
 - 回収した散布液残留物は、該当する法規に従い廃棄処分にしてください。
 - 散布液残留物は、適切な容器に集めてください。

1. ポンプを OFF にします。

2. 手動操作で吸引室 G を  位置にします。

3. 切り替え栓 I を  位置にします。

4. 切り替え栓 Z を開きます。

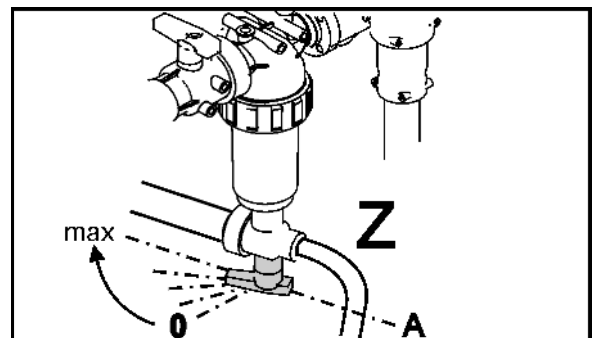
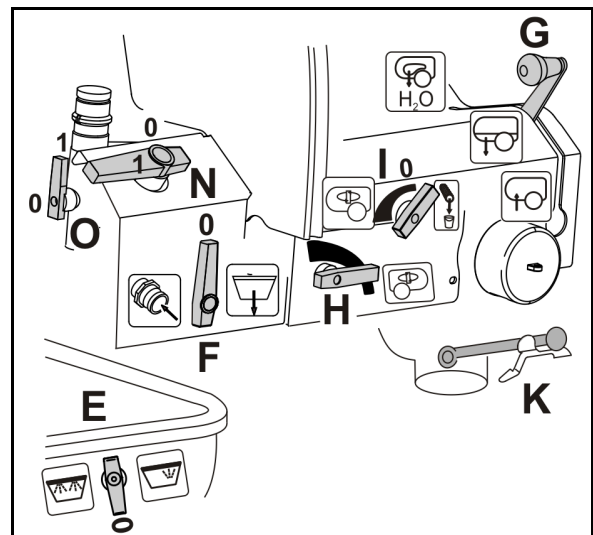
5. 停止栓 K を開きます。

→ 技術上の理由により生じる残留量を排出します。

6. 停止栓 K を再び閉じます。

切り替え栓 I を 0 位置にします。

切り替え栓 Z を閉じます。



警告

凍結による損傷！

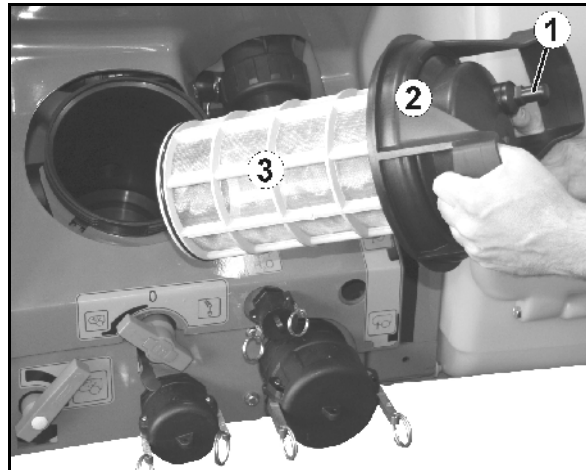
冬の間は、最終残留物もスプレーヤーから排出しておいてください。

3.5 タンクが空の状態ですり引フィルターを清掃する



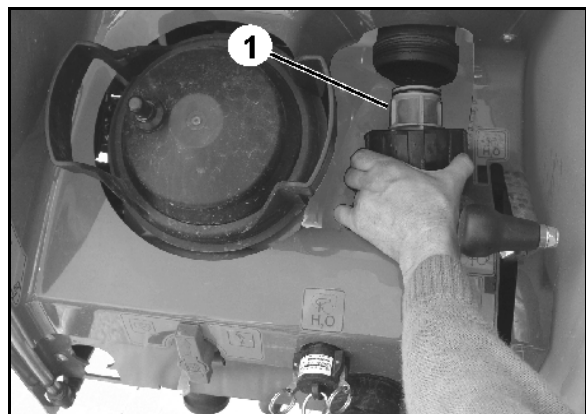
吸引フィルター は、スプレーヤーの清掃後に毎日清掃してください。

1. 吸引フィルターのカバーを外します (2)。
2. 吸引フィルター (3) 付きのカバーを取り外して、水で清掃します。
3. 逆の手順で吸引フィルターを再び組み立てます。
4. フィルターケースに漏れがないか点検します。



3.6 タンクが空の状態ですり引フィルターを清掃する

1. ユニオンナットを緩めます。
2. 両方の圧力フィルターを取り外して、水で洗います。
3. 圧力フィルターを再び取り付けます。
4. ねじがしっかりしまっているか点検します。



3.7 混ぜられない薬剤を交換する際のスプレーヤー清掃

1. 通常通り 3 つのプロセスで、スプレーヤーを清掃します。
2. 洗浄水タンクを充填します。
3. 2 つのプロセスで、スプレーヤーを清掃します。
4. 前に圧力接続部を用いて充填していた場合 :
混入容器をスプレーガンで清掃し、混入容器の中身を吸引します。
5. 最終残留物を排出します (37 ページを参照) 。
6. 吸引フィルターと圧力フィルターを必ず清掃します。
7. 1 つのプロセスで、スプレーヤーを清掃します。
8. 最終残留物を排出します (37 ページを参照) 。



AMAZONEN-WERKE

H. DREYER GmbH & Co. KG

Postfach 51

電話 : +49 5405 501-0

D-49202 Hasbergen-Gaste Fax : +49 5405 501-234

Germany

E-mail : amazone@amazone.de

[http:// www.amazone.de](http://www.amazone.de)

工場 : D-27794 Hude • D-04249 Leipzig • F-57602 Forbach

支社 : イギリス、フランス

無機質プロトキスタ、スプレーヤー、種まき機、耕うん機、

多目的倉庫および共同ユニットのメーカー
